

この度ウエルフェア九州病院では、7月31日付けをもちまして、鮫島秀弥医師が院長を退任し（診療は今までどおりです）、医療法人慈生会の理事長職に専任する事になりました。8月1日より、新院長として中島泰廣医師が就任いたしましたので、よろしくお願い致します。

院長就任のご挨拶

～5回目の院長就任を迎えて思うこと～



昭和37年（1962年）6月に医師免許を取得して以来、医者稼業を続けてきて、今年で45年、年齢も70歳となり、色々な体験をいたしました。

その中でも、今回を含めて、合計5回院長職を経験する事になったのは、思いもかけない事でした。

私は、昭和36年3月（1961年）に鹿児島大学医学部を卒業後、インターン1年を済ませた後、外科医になることを志し、昭和37年4月、鹿児島大学第2外科へ入局、肝・胆・膵を中心とする消化器外科を専攻し、この分野の研究に従事すると共に、文部教官として学生や若い医師の教育・研修指導にも携わり、20年間勤務、その間に、昭和49年8月から昭和52年5月までの足かけ3年間、米国オハイオ州立オハイオ医科大学外科へ留学しました。この時期に経験・見聞したことが、その後の私の人生観と生き方に大きな影響を与えました。そして昭和56年12月31日開業

準備のため文部教官を退官しました。昭和58年11月1日、鹿児島市下福元町（坂の上）で“中島胃腸科外科（医院）”を開業、これが第1回目の院長就任となりました。そして多い時には月に25、6例の外科手術を独りでこなし、術前・術後管理も行うという過重労働と心労が重なり、開業6年目には体調を壊し入院するはめになりました。このまま開業を続ければ、又、健康を損ね、早死にするのではないかとの危惧もあり、平成6年11月末日閉院して、M市で開業していた家内の弟の病院、“S胃腸病院”の院長として、平成6年12月1日着任したのが、第2回目の院長就任であります。以後、私の“中島胃腸科外科”を買ってくれ、その跡を利用して、開設された徳洲会系の“光山クリニック”の院長（3回目）を1年、平成8年11月30日に、自宅が新築落成したのを機に、その一部屋を使って同年12月1日“ファミリードクター中島”を再開して、4度目の院長となり、今回“ウエルフェア九州病院”院長を引き受けて5回目の院長就任となりました。（次ページへ）



医療法人慈生会 経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

医師となつてからの私は、35年に亘り消化器外科医として、診療に従事してまいりましたが、10年前の平成9年1月に一大転機が訪れたのです。このとき、長年にわたり私が主治医として診てまいりました、精神障害の子供を持つAさん（元保健婦）が、「先生は精神病院に勤めてみる気はありませんか？、精神病院にも身体合併症を持つ患者様が沢山おられるが、私の知っている病院でそれを診てくださるドクターが居なくて困っている病院があり、医師を探している」とのお話を頂き、当初は、精神科病院に勤務した経験はないので、しり込みしましたが、「先生のような方が、精神科病院に勤めてくださると、患者様も大変喜ばれ、助かりますよ」という、Aさんのお世辞に乗せられて、同年1月半ばから、週3日勤務の非常勤医師として勤務することになり、翌日、見学のため、病棟を訪れたところ、既に、処置室で、重症のひょうその患者様が私の来るのを待っておられ、止むを得ず、手術をいたしました。このような状況で、非常勤外科医として勤務を開始したものの、翌月2月からは、何となく常勤医師となつてしまい、50人の患者様を主治医として受け持つことになり、あれよあれよという間に精神科の臨床修練が始まりました。今にして思えば、将に、“その時歴史が動いた”のであります。この時期を境にして、精神科医療に、徐々に興味を持つようになり、次第に深みにはまり、独学で精神保健指定医の資格も取り、今では、外科は忘却の彼方にあり、純粋な精神科医となつて精神科医療に専従しております。10年間精神科医療に携わつてきて、私の70年の人生経験が、患者様の精神療法に少なからず役に立つ事に気付いて、年を重ねる事にも意義を感じています。

しかし、今や、医療を取り巻く環境には、極めて厳しいものがあり、政府の医療政策の中心課題は、医療費の抑制、削減であります。このことは、精神科医療においても現実の間

題であります。その一方では、色々法律を作つたり、改正したりして、質の良い医療の提供を、医療機関に求めており、一般世論も同じ方向に向いております。この構想、あるいは要求は、「安い材料費で、できるだけうまい料理を作つてたべさせろ」と要求するようなもので、矛盾であり、ジレンマでもあると私は思います。とは言え、「患者様の苦痛を取り除き、病を治し、心を癒す」事を使命とされる、我々医療人にとりましては、何とかして、この矛盾あるいはジレンマを乗り越えて、使命を果たさなければなりません。そのためには、日進月歩の医学知識や技術を、速やかに取り入れ、創意・工夫を凝らし、より質の良い医療の提供を目指し、日夜努力を傾注する以外に道はないように思われます。



平成15年4月1日に、私が当院に着任してからすでに満4年が経過し、5年目に入りました。その間、私が観察し、実感したところでは、制度面では、改革が著しく進み、他の追随を許さないところまで来ているように思われます。一方、医療の内容、医療の質については、もう少し検討し、改善を図る必要のある部分があるようにも思います。

今後は、職員の英知を結集して、“質の良い医療とは何かを”議論し、結論を導き出し、皆様の全精力を傾注して、これを実現して、地域の皆様並びに患者様の負託に応えられるよう頑張つて参りたいと思つておりますので、職員は勿論のこと、地域の皆様並びに、当院をご利用いただいている患者様の方々にも、倍旧のご理解とご協力をお願いしまして、院長就任のご挨拶といたします。

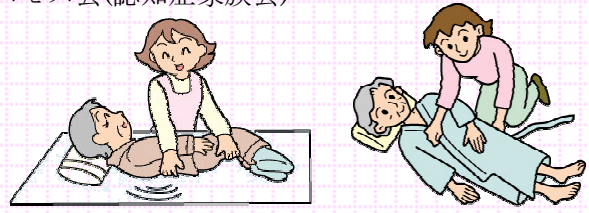
平成19年8月1日
ウエルフェア九州病院
院長 中島泰廣

コスモス会の報告

コスモス会(認知症家族会)

5月19日(土)に「日常生活での介護のコツ」をテーマに排泄・食事・移乗の3つの視点から介護の方法など、実演を交えての講演を行いました。当院の職員による実演に、ご家族の皆様も熱心に参加していただき、介護の方法や注意する点について学んでいただくことができました。ご家族からは「色々の介護用具があるが、家にある机や椅子を使った介護の仕方もある事を知ることができた。」
「わかりやすく介護の方法を学ぶことができた」など多くの意見をいただきました。

また、座談会では、介護を行う上で苦労した事や、日頃の出来事や思いを話していただき、ご家族同士の様々な意見交換の場となったのではないかと思います。介護は考える以上に大変なものです。その上、介護について相談する場や、日常の悩みを気軽に話せる場が少なく、介護者も心身の疲労を抱えてしまうこともあります。座談会がご家族同士の交流の場また、話をすることで心身のストレス発散の場になればと思います。今後も多くの方々に、家族会に参加していただければ幸いです。家族会へのご要望・ご質問などありましたらお知らせください。



第11回すずらん会のご案内

すずらん会(精神障害者家族会)



日程：平成19年9月8日(土)

場所：ウエルフェア九州病院1階 作業療法室

内容：「障害者自立支援法と社会資源について」

講師：榎 光一(地域活動支援センターうえるふえあ精神保健福祉士)

今回は、障害者自立支援法と社会資源についての講演を予定しています。精神疾患を抱える方々を支援する法律とはどのようなものなのか、社会復帰のために利用できる施設や制度にはどのようなものがあるのか、1人でも多くのご家族に知って頂ければと思います。

また、講演の後には座談会を予定しています。座談会とはご家族の方々が日頃感じていることや困っていることを語り合い、心身の負担を軽減したり交流を深めたりするための場です。たくさんのご家族の参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

部署紹介 うみがめ病棟



うみがめ病棟は重度の老人性認知症患者様専門の治療病棟です。

ダイルム（食堂）からは、東シナ海や開聞岳が見え、天気の良い日には、黒島・竹島・硫黄島・屋久島も見えて、とてもきれいです。病棟では看護師・介護福祉士・作業療法士・心理士・精神保健福祉士との連携をはかりチーム医療を推進しています。

日常生活の自立・安定を目指し薬物療法と併用し1日4時間、週5日以上での生活機能回復訓練をはじめ、作業療法としてパワーリハビリテーション・レクリエーション・手工芸・音楽療法・体操など実施し、回想療法も心理士と共に行っています。また、毎月1回（第3火曜日に）病棟行事が行われ患者様に、季節感を感じてもらおうと共に家族との絆を深めています。

以上を取り入れ、身体機能訓練、生活機能回復の維持のための治療活動もあり、一人一人の症状や問題点に応じた関わりを心掛けて、様々な取り組みを行っています。

病棟での出来事や、ご家族へのお知らせ、家族会の案内などを記事にしたうみがめだよりを発行しております。

病棟行事

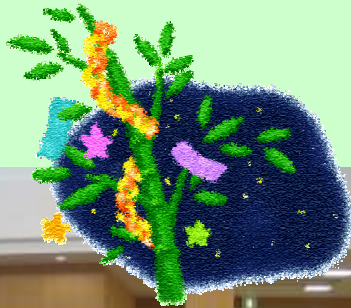
めぐみ病棟は、6月20日明治蔵の見学に行ってきました。梅雨真っ只中、雨も覚悟していましたが天気にも恵まれ、ドライブ日和となりました。

薩摩酒造の美人のお姉さんに焼酎の出来るまでを説明してもらい、蒸かし芋とお茶をサービスして頂きました。その後火の神公園により海風にあたって帰路につきました。今回は焼酎製造の時期ではなく空（カラ）の蔵だったので、次回は仕込み中におじゃまして焼酎の香りを楽しみたいと思います。（介護福祉士萩原のぞみ）



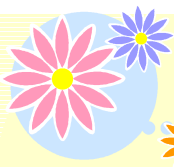
うみがめ病棟では、7月の病棟行事『七夕会』を開催しました。

立神保育園の園児さん達が、浴衣や甚平を着てお遊戯を披露しに来てくれました。途中、お遊戯を忘れて止まっている子供を見ては、「頑張れ！！」と大きな声で応援をされる一面もありました。最後に輪になり《枕崎音頭》の曲がかかると楽しく一緒に踊りました。子供達が最後に記念品と一緒に「また来ます！！」と言うのを聞いて涙ぐまれる方もいらっしゃいました。皆さん御自分の孫や曾孫を見ているような、とても良い表情をされていました。（介護福祉士新屋敷美弥）



みどり病棟では、8月2日に七夕会を行いました。織り姫と彦星の紙芝居をしたり、短冊に願いごとを書いてもらいました。病棟の皆の健康を気づかう願いごとや『おにぎりをたべたい』などそれぞれの願い事がありました。茶話会ではプリンやジュースもでて皆さん楽しまれていました。（作業療法士川添健司）





ストレスマネジメント

Vol.5

コミュニケーションスキル法

私達は社会の中で生活しています。社会には様々な関係があり、もっとも基本的なものに人間関係があります。家族が一番最初の人間関係だといえます。ストレスとは刺激を意味したように、人間関係で起きる様々な出来事もストレスといえるのです。

「〇〇に行こう」といわれて断りたいけど、断れない。はっきり意見を述べたいけどできない。等等・・・。コミュニケーションがスムーズに行かないとストレスが溜まります。ストレスが溜まると、爆発する、体調を壊す、人にあたるなど余計なストレスを生むことになります。上手なコミュニケーションの仕方を学ぶことは、ストレス対処にとって大切なことなのです。

さて、ここで皆さんに質問です。

Q. 友人と待ち合わせをしました。15分が過ぎた頃、友人がやってきました。さあ、あなたは友人に対して何と言葉をかけますか？

パターン1：相手を責める（攻撃的）

パターン2：自分の思いを取り下げる（非主張的）

パターン3：自分の思いを大切にし、かつ相手にも配慮するやり方（アサーティブ）

まずは、自分のコミュニケーションのパターンを知ることが大切です。

アサーティブな対応が、自分と相手と両者の受けるストレスが一番小さい方法です。けれど、頭では分かっているがなかなか難しいですね。このスキルを身につけようというのが、アサーティブトレーニングといわれる方法です。

皆さんのパターンはいかがでしたか？今日は何か1つアサーティブなコミュニケーションをしませんか？（次回はアサーティブの中身についてです。）

作品介绍



うみがめ
「あじさい」



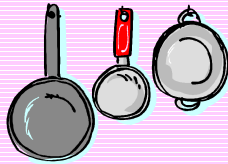
いその苑
「七夕」



レスティア「ムーミン」

かけあして ひと昔去り 笑み多き (ペンネーム 桜心)

(入院して10年がたつが、あっという間だった。入院初期は不安も多かったけど、今では不安も消え笑顔で生活できている)



6月の行事食 牛ヒレステーキランチ

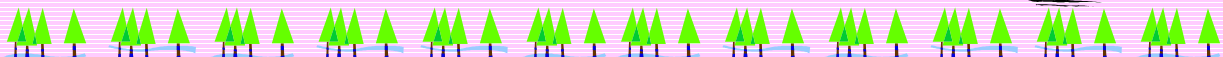
6月の行事食はストレス解消と便秘に効果的な薬膳料理でした。



【献立】	※薬膳食品	
一・肉料理 牛ヒレステーキ	大蒜（ニンニク）	スタミナアップと殺菌効果、また動脈硬化予防にもよいとされています。
	生姜	健胃、食欲増進もあり、また発汗作用などがあるため新陳代謝を促進するとされています。
一・サラダ レタス、胡瓜、玉葱、 トマト、松の実	松の実	滋養強壮や便秘に効果があると言われています。
一・薬膳スープ 百合根、白木耳、ニラ	百合（びやくごう）	利尿作用に優れ、効ストレス作用もあるとされています。
	白木耳	美肌によく、滋養強壮作用もあり繊維が多いため便秘にもよいとされています。
一・デザート ナツメ入りフルーツ ゼリー	紅ナツメ	効ストレス作用があるため精神安定によく、また筋肉の痛みにもよいと言われています。
一・ライス 炊込みピラフ	くちなし	精神を静め、不眠を改善する作用があるとされています。

※食品効能についての参考資料

- ・薬用食品学改訂第5版
- ・「心にやさしい和の薬膳」著者：板倉哲子氏（板倉料理学院院長・薬膳研究家）
レストラン課料理長 宮田武志



道路愛護団体として国土交通省より表彰を受けました。

環境整備により、国道沿いの美化活動が認められ、この度国土交通省より表彰状をいただきました。

お知らせ

売店『HOW ショップ』がオープンしました！

是非ご利用ください。

《営業日・営業時間》

月曜～金曜 AM9:00～PM6:00

土曜日 AM9:00～PM3:00

*日曜・祝日はお休みです。

《取扱い品目》お菓子・お弁当

ジュース・おにぎり・日用品・その他



HOW ショップ



ハイツ・ワンステップ

社会復帰アパート

ハイツ・ワンステップ OPEN

社会復帰アパートでは、入居者を募集中です。

<入居対象者>

- ☆ 社会的自立を目指す方
- ☆ 家庭事情や住居事情により、援助が受けられない方
- ☆ 入居判定委員が承認した方

入居についてのご相談は、
地域活動支援センターうえるふえあ

TEL72-9242 (担当 榊) まで

この度、ウエルフェア九州病院敷地内に『HOW ショップ』をオープンさせて頂きました。一般のお客様方には、ワタキューセイモアとお聞きになれますと、病院寝具のリース、白衣のリースを専門に行っている会社とご想像されると思いますが、実は病院様内の売店運営も携わせて頂いております。実績と致しましては、全国で約370店舗、九州で57件、鹿児島県では5件となっております。弊社売店『HOW ショップ』のサービスの特徴と致しまして、①店舗づくりから運営までフルパッケージでご提供②幅広い取扱い商品③患者様にやさしい店舗設計④利用者の満足度を高める販売スタッフを育成⑤貴院のニーズに応じて最適なシステムを構築など特徴を活かし、病院様毎に合わせた的確な売店プランをご提案させて頂きたいと思っておりますので、お気軽に弊社売店部門まで、ご連絡頂きたくお願い申し上げます。最後に今回、開設までの期間、さまざまな準備等でウエルフェア九州病院関係者の皆様方には、大変なご尽力ご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。(ワタキューセイモア(株)九州支社売店部松島一洋)

精神科救急 8/5(日)、9/17(月) 内科当番 8/26(日)、10/7(日)

うえるふえあ(welfare)は
健康・幸福・福祉・繁栄を意味します

発行人 鮫島秀弥
〒898-0089

鹿児島県枕崎市白沢北町 191

TEL (0993) 72-0055 FAX72-1199

URL <http://www.welfare-kyusyu.or.jp/>

e-mail jiseikai@welfare-kyusyu.or.jp



編集後記

猛暑の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。この暑さで熱中症の被害が出ております。熱中症にならない為に、日頃から体調管理をしっかりと、活動は涼しくなってから、失われた水分と塩分の補給、通気性の良い服装など心がけてこの夏を楽しみましょう。(寿)

